



フロンティア30 ニュース

## 大塚のぶおの 芦屋市議会報告 #3

元・朝日放送アナウンサー 2019/12/25

### 事業費 130 億円はどこまで上振れるのか？

12月10日令和元年最後の「一般質問」でJR芦屋駅南地区開発事業を中心に行政当局を質した。現在、当該地域の再開発は、一部地権者との交渉も難航中。130億円という本体工事等の事業費については、役所の中からですら「つかみ金」で“ゴースト”と揶揄され、どれくらい上振れするのかわからないとされる中で「どれくらい上振れするのか？」「市民の貴重な税金を唯々諾々と注ぎ込んではならない、『上限枠』を設けるべきではないか？」と問うた。これに対して行政当局は、「事業計画を作った時から地価は30%近く上昇しており、経費も膨らんでいるが、誠意をもって対応していくことが『上限枠』を設けることに繋がるのでは」などと逃げの答弁に終始し、「つかみ金」との様相が一層強まった。

現在、一部地権者の中には、「土地を提供しない」と決然たる態度を示す人もおり、収用という事態が生じる可能性も否定できない。そこで、伊藤舞市長に対して「仮に収用となれば『全国ブランドの芦屋で収用とはどういうことだ！』となり、メディアが検証のため取材に来ると思うが、その検証に耐える覚悟はあるのか？」と質したところ、「メディアがどう言おうが、勝手に仰って下さい！ということだ」と開き直りとも言える答弁をしたため、即座に「暴論だ！メディアの背には市民がいて、国民がいる。だからこそ、収用に至った芦屋市の行政がどうだったのか検証するのだ」と諫めざるをなかった。朝日放送に長く在職していた者としては、全くこの伊藤市長の答弁は、市長としての資質すら問われかねないものであり、「独善的」というほか言葉がない。

### お願い：市民としてこの再開発事業にどう向き合うか？

このような首長の下で進められる大規模事業に市民の皆さんは、強い関心をお持ちいただき、是非その推移に注視していただくようお願い致します。駅舎改良工事は別にして、何より、再開発事業費130億円の内、80億円が市民であり、国民である私達の負担となります。人口9万5千人で割れば赤ちゃんからお年寄りまで一人あたり8万4210円。もし、事業費が10億円上振れしただけでも9万4736円。いずれにせよ、大変な金額だということをご認識いただきますように。今後も市議として行政監視機能を存分に果たして行く所存です。

上記12月10日の「一般質問」の注目のやりとり(録画)は以下の要領でご覧いただけます！

[芦屋市役所 HP](#) → [芦屋市議会](#) → [議会中継](#) → [令和元年4回定例会](#) → [12/10本会議](#) → [大塚のぶお](#)

## 芦屋市議会議員 大塚のぶお の 議会報告

令和元年を振り返り、成果の一つをご紹介させていただきます。私の公約の一つである市職員給与の高止まりの要因となっている「手当」の是正。芦屋市職員の給与は2018年4月1日現在、ラスパイレス指数は、102.0と県内自治体の中でも9年連続1位と不名誉な記録を更新中。

そこで議員として初めて登壇した7月3日の「一般質問」で持ち家の職員に支給されている一人月額9900円（対象335人）の「住居手当」について「阪神間の他都市でも段階的に下げ宝塚市、伊丹市ではゼロにしている。国は10年前に廃止し、国に準拠すべき手当なのに貴重な税金をつぎ込むのは見過ごすことはできない」と質したところ、「見直しにむけ

（労使で）協議を行う」との答弁を行政当局から引き出すことができた。令和2年度の予算からこれが反映され、9900円を段階的に下げ、最終的に令和4年度には2500円まで引き下げられることとなった。

これにより、これまで年間約4000万円かかっていたのが、1000万円近くに圧縮されることになった。すでに指摘したJR芦屋駅南地区再開発事業を主な要因として財政事情が逼迫する芦屋市にとってこの圧縮されて生み出される3000万円はまさに「干天の慈雨」である。今後も行政経費の効率化に向けて細心の目配りをしていきたい！そのように考えております。

\*ラスパイレス指数：国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数  
市民の皆さんのお困りごとやご要望等ございましたら、お気軽に事務所にお立ち寄りいただけますと幸いです。メール等お寄せいただいても構いません！



令和元年7月3日の初の「一般質問」の様子  
この際、「住居手当」の見直しを迫った！

フロンティア30代表・大塚のぶお プロフィール [HP: nobufr30.com](http://nobufr30.com)

青山学院大学文学部フランス文学科卒、クラブはESS / 2020年元旦で62歳  
朝日放送アナウンサー / フルブライト奨学生（ジャーナリスト・プログラム）で米国留学  
『サンデープロジェクト』田原総一郎コーナー 担当ディレクター  
朝日放送広報部長 / 報道局ゼネラルプロデューサー  
関西プレスクラブ企画副委員長 / 帝塚山大学非常勤講師 等を歴任

【連絡先】：携帯 090 - 1674 - 7747    [メール: nobufr30@outlook.jp](mailto:nobufr30@outlook.jp)

【事務所】：大原町5-4 ナカノビル2階    東芦屋町在住

【資格趣味】：ワイン大好き！ JSA 認定 ワインエキスパート / 社交ダンス